JAPSA NEWS

04
2025 Autumn

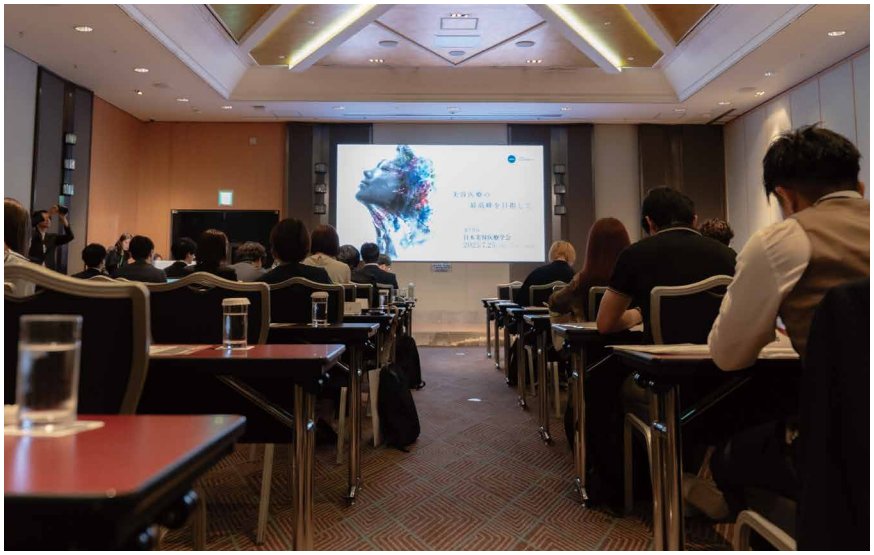
Report
第19回 日本美容医療学会 研究会報告

Interview
プロジェクトリーダーインタビュー

Information
日本美容医療学会からのお知らせ

JAPAN ASSOCIATION OF PLASTIC SURGERY AND SKIN TREATMENT FOR AESTHETICS

［第19回テーマ］
美容医療の最高峰を目指して。



革新と進化の礎を磨く、さらなる高みを見据えた知識交流。

一般社団法人日本美容医療学会（JAPSA）（事務局：東京都港区、代表理事：寺西宏王）は2025年7月25日（金）、ヒルトン大阪（大阪市北区）にて「第19回 日本美容医療学会 研究会」を開催いたしました。「美容医療の最高峰を目指して」をテーマとした本研究会は、会場をこれまでと変え、座学を重視した構成で実施。58名の医師・専門家が参加し、15の演題発表を通じて美容医療分野の最新技術や研究成果について議論を交わしました。

一般演題では、大分大学医学部附属病院形成外科の秋篠宏介医師が、美容外科治療に伴う合併症とその治療法について発表。症例として、隆鼻術の複数回修正により生じた鼻柱の陥凹変形や、脱毛レーザーによる熱傷瘢痕を提示し、それぞれの治療方法を解説しました。また、美容外科治療と健康保険の適用範囲との関係性についても言及し、美容医療全体でのガイドライン策定や国民への理解促進の必要性を提起しました。メトラス株式会社の共催によるランチョンセミナーでは、TCB東京中央美容外科の田村太一医師がスネコスの有効性に関する研究結果を報告。肌育治療として注目を浴びるスネコスを顔まわりと頸部に注入し、その変化を評価しました。顔まわりの臨床では、肌診断機「Neo Voir」を用いて、「シワ」「ツヤ」「赤み」「色素沈着」の変化率を算出。目に見えにくい変化を数値化することで、客観的指標に基づく評価を可能としました。さらに患者に対して満足度アンケートを実施するなど、多角的にスネコスの効果を検討。研究が未発達な先進医療領域において、臨床データの蓄積とエビデンス構築に貢献する成果を収めました。

多領域の見解が導く、これからの美容医療が歩むべき道程。

ビデオシンポジウムでは、TCB東京中央美容外科の宗像寿祥医師が、施術時の患者ストレス軽減を目的とした心理的マネジメント方法について発表しました。症例数の多い埋没式重瞼術を題材に、術中映像を供覧しながら、患者体験の質を高め満足度を最大化するための具体的アプローチを提案。これにより、美容外科施術における心理的ケアの重要性が改めて示されました。さらに、今回は特別講演も企画され、「再生医療の現状と展望」「顔面の局所皮弁デザイン」の2題の講演が行われました。前者の講演を行ったリジェネクリニックの木内玲子氏は、美容医療における「再生」の概念や、再生医療法の改正内容、培養細胞を用いた症例について解説。今後は科学的根拠に基づくエビデンスのさらなる蓄積が求められると指摘しました。

講演者・参加者ともに日頃の臨床や研究で培った知識を発揮し、活発な意見交換が行われた本研究会。参加者からは、「明日の臨床から実践できる内容だった」「ディスカッションがしやすい場だった」などの声が上がりました。JAPSAは、美容医療業界をリードする医師の育成と、全国の美容外科医の技術向上に取り組んでいます。2025年11月14日（金）には、「第2回 日本美容医療学会学術総会」を開催予定。各分野の最前線で活躍する医師や専門家が、分野の垣根を越えて国内外から集結します。JAPSAは今後も、美容医療の最新情報や手術手技の知見を共有し、ともに成長できる環境を提供してまいります。

TCB東京中央美容外科 神戸院
院長 大隈 宏通 医師

Interview
プロジェクトリーダーインタビュー

Profile Hiromichi Okuma

1986年生まれ、兵庫県出身。香川大学医学部を卒業後、呼吸器外科医として住友病院、神戸大学医学部付属病院 呼吸器外科、兵庫県立がんセンター、愛仁会高槻病院に勤務したのち、2021年よりTCB東京中央美容外科入職、美容外科医に転身。2023年よりTCB倉敷院、TCB福山院 院長を歴任し、2024年よりTCB神戸院 院長就任。美容外科医として研鑽を積みながら医学博士号を取得するなど、学術活動に意欲的。2025年より創設されたJAPSA認定医制度ではプロジェクトリーダーを務め、試験問題作成を担当している。

知識と信頼で、美容医療を切りひらく

JAPSA認定医制度が目指す医師・患者・社会への貢献

このたびJAPSAでは、専門的な知識と技術を有する医師を認定する「JAPSA認定医制度」を創設いたしました。その背景や目的について、プロジェクトリーダーを務める大隈宏通医師にお話を伺います。

JAPSAで担当されているご職務を教えてください。

現在はJAPSA認定医制度のプロジェクトリーダーとして、第一回認定医試験が成功するように尽力しております。私自身試験問題作成は初めての経験ですが、プロジェクトメンバーの支えのお陰で順調に進んでおります。

プロジェクトリーダーに任命された際、どう感じましたか。

元々美容医療の世界に飛び込んだ時から、保険診療と同じように美容医療に対しても学問として向き合っていきたいという思い

がありました。そのような思いを持ちながら診療を続けていく中でJAPSAに入会させていただきました。今、JAPSAを通じて美容医療に関する学術活動に参加できていることに大変感謝しております。認定医制度のお話をいただいた時、JAPSAに恩返しができると思ったので非常に光栄です。

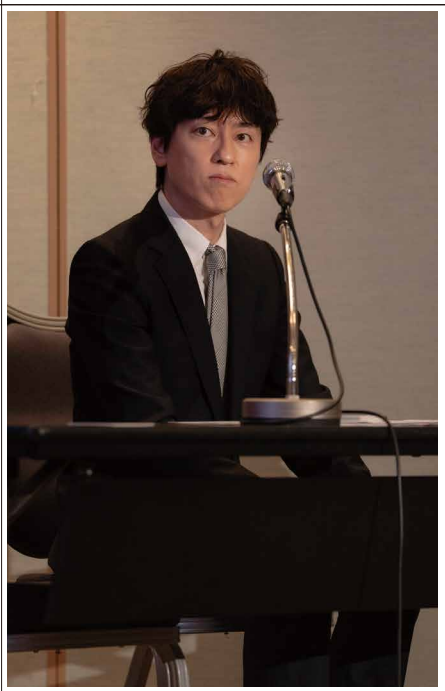
なぜJAPSAで認定医制度を創設することになったのでしょうか。

当学会に在籍するドクターに一定の知見を持っていただきたいというのが、認定医制度創設の大きな目的となります。認定医制度を通じて美容医療を体系的に学習していただき、正しい知識を共有することで、ドクター全体の診療の質を向上させたいと考えています。

認定医制度が医師・患者・社会それぞれにどのような効果をもたらすと考えますか。

まず、医師にとって認定医制度とは専門分野に精通していることを示すステータスになると思います。認定医という資格を有することで、より自信をもって診療

TCB東京中央美容外科 神戸院
院長 大隈 宏通 医師



できるようになることを期待しています。患者様にとっても医師を信頼できる指標となるので、医師、患者様双方に大きなメリットがあると考えています。社会的にも認定医制度を制定することで、JAPSAの社会的正当性を発信できると考えています。

美容医療業界の現状と課題をどのように考えていらっしゃいますか？

現在の美容医療はガイドラインがなく、各々のクリニックが独自に診療を行っています。それ故に、安全性に逸脱した処置や適応を見誤った処置が散見されていることが大きな問題となっています。認定医制度を制定し、正しい知見を共有することでそのような問題の解決に繋がることを期待しています。今後認定医が広がることで、美容医療の安全性や技術の向上に寄与できると信じています。

JAPSA認定医制度には、既存の認定医制度と異なる特徴はありますか。

JAPSAは美容外科・美容皮膚科・形成外科・再生医療を網羅する学会であるため、認定医制度においても、特定分野に偏らず各分野を横断した知識を有しているかを審査項目に加えています。これは既存の認定医制度にはない大きな特徴です。さらに本制度は、美容外科に留まらず、美容医療全体を牽引できる医師を育成することを目的に設計されており、その理念に基づいて、試験内容にも幅広い知識を身につけられる工夫を取り入れています。

認定医制度や人材育成など幅広く取り組んでいらっしゃるJAPSAですが、今後実現したいビジョンはありますか。

これからは美容外科、再生医療等を組み合わせた包括的な医療が必要になってくると思います。そのような医療を提供できるドクターを継続的に育成していくことが、一つの大きな目標です。また、学会発表や論文執筆を通して、学術面からも美容医療をより良いものにしていきたいと考えています。臨床的に検証された情報を発信し、最終的なガイドラインを整備し、エビデンスに基づいた美容医療を患者様に提供すること。それが私たちの目指すビジョンです。このビジョンは非常に大きなもので、私一人では到底実現できません。しかし、JAPSAに在籍する仲間と共に取り組むことで、必ず成し遂げられると信じています。微力ながら、今後もJAPSAの発展に寄与できれば幸いです。

JAPSA NEWS

Information
日本美容医療学会からのお知らせ

JAPSAが目指すのは、美容医療業界をリードする医師の育成です。
年3回の研究会と年に一度の学術総会のほか、
「認定医制度」をはじめとした、今後のキャリア形成に活かせるさまざまな機会をご用意しています。
皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

JAPSA認定医制度

JAPSA認定医は、日々の診療・手術経験を客観的に証明できる資格です。
今後のキャリア形成や患者・医療関係者との信頼構築に大きく役立つことが期待されます。

【新規申請要件】
・日本美容医療学会（JAPSA）の正会員であること
・学術総会または研究会に1回以上出席していること
（2025年度は学術総会または研究会への申し込みでも申請可能）

【審査の流れ】
（1）申請書類に基づく書類審査
（2）年2回の筆記試験（絶対評価および相対評価）
（3）臨床経験と倫理的観点を総合的に勘案し、認定の可否を決定

【申請書類】
（様式A）– 認定医申請書
（様式B）– 履歴書
（様式C）– 診療実績証明書

【新規申請手数料】
30,000円

2025.10.3
2025年 JAPSA認定医試験

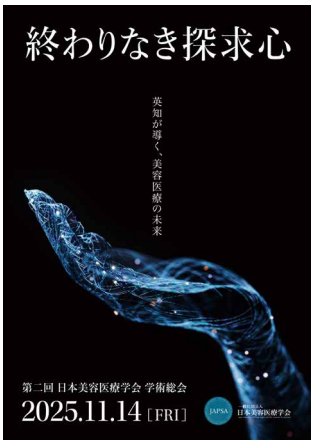
【試験日】
2025年10月3日（金）

【会場】
東京都内、大阪市内（予定）
※会場の詳細は申請後にご連絡いたします。

【試験形式】
筆記試験（マークシート形式）

【申込締切】
2025年9月25日（木）※書類必着

新規申請の詳細・更新申請についてはこちら↓
https://japsa.or.jp/certified_doctor_system



2025.11.14
第2回 日本美容医療学会 学術総会

【　会期　】2025年11月14日（金）

【　会場　】〒231-8340 神奈川県横浜市中区山下町280-2 ハイアット リージェンシー 横浜

【参加資格】医師、コメディカル、研修医、医系学部（医科・歯科・看護科）の学生

【参 加 費 】会員：15,000円、非会員：20,000円、コメディカル：10,000円、研修医／医学生：無料

【応募締切】2025年10月15日（水）

日本美容医療学会 学術総会のお申し込み・詳細はこちら↓
※お申し込みには、m3.comのアカウントが必要となります。
https://japsa.or.jp/lecture/soukai_202511

第19回 日本美容医療学会 研究会
スポンサー企業様

Jeisys Medical Japan Inc.

caloo